

■スペイン：風力発電出力が総需要の53%を記録

2009年11月8日、スペイン本土に強い風が吹いたため、同国における風力発電出力の総電力需要に占める割合が53%に達し、これまでの記録を更新した。50%を超えた時間帯は、同日3時30分から8時40分までの5時間10分。その間、風力の出力が原子力プラント11基分に相当する1,010万～1,150万kWに達した（電力需要は1,900万kW～2,170万kWで推移）。過去の記録は2008年11月24日の43%であったが、2009年11月5日には45.1%と記録を更新したばかりであった。また、8日の14時30分には、風力の出力自体も1,154.6万kWとこれまでの最高を記録した。その間に発生した余剰電力は輸出および揚水用電力に利用された。風力エネルギー協会の代表者ホセ・ドノソ氏によると、スペインの系統設置容量は、2009年10月時点で1,700万kWであり、2020年までに4,000万kWの達成が目指されている。